

オプション品（室内ユニット）

6. 温度センサ（PAC-SE40TS）

温度センサは、空調する部屋の温度が室内ユニットで的確に検知できない場合に、部屋の温度が的確に検知できる場所に取り付けていただくものです。

6-1. 部品確認

箱の中には、取付説明書の他に次の部品が入っていますのでご確認ください。

- 温度センサ本体……………1
- 2心ケーブル（12m）……………1
- 木ネジ4.1×16……………2
- 接続用ポスト付きコネクタ……………1

6-2. 据付方法

(1)温度センサ（スイッチボックス）の据付位置を決めてください。但し、下記の事項を必ず守ってください。

- 温度センサは、部屋の平均的な温度を検知できる場所で直射日光や熱源、エアコンの吹出空気が直接当たらないところをお選びください。
- 下記の部品は、現地にて調達してください。

- 十字穴付ナベネジM4……2本
- 1個用スイッチボックス（JIS C8336）
- 薄鋼電線管（JIS C8305）
- ロックナット・ブッシング（JIS C8330）

(2)ケーブルを接続します。

- 2心ケーブルを下ケースの端子台に接続します。
2心ケーブルは図1のように被覆をはがし、図2を参照して正しく配線してください。
- 室内ユニットの電気品箱と温度センサとの配線は、図3のようになります。2心ケーブルの電気品箱への接続には、3種類あります。
 - 2心ケーブルの端についているコネクタをそのまま使用する場合
 - 2心ケーブルの端についているコネクタを切断して、I.B（インドアボード）内の端子台に接続する場合
 - 付属の接続用ポスト付きコネクタを使用する場合

上記3種類を使用する室内ユニットに応じて使い分けて使用してください。また、2心ケーブルを壁埋込にする場合は図4のようになります。

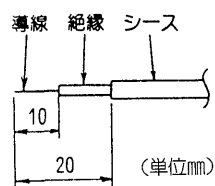


図1

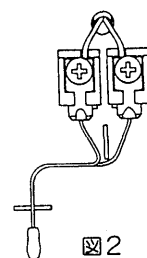


図2

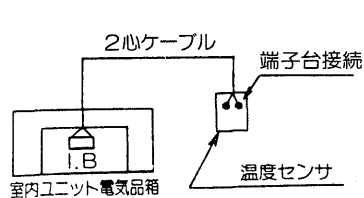


図3

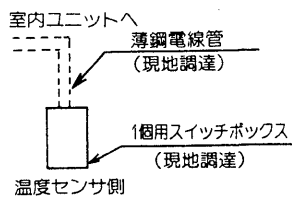
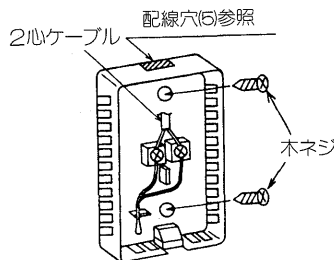


図4

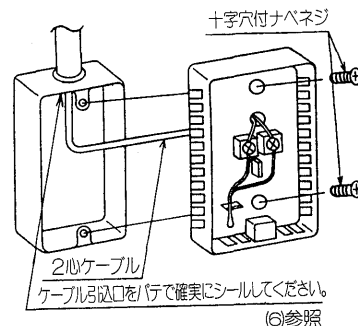
(3)下ケースを壁またはスイッチボックスに取り付けます。

ご注意 ●ネジを締めすぎますと、ケースの割れ・変形の原因になります。
●2心ケーブルを端子台に付ける時の推奨締め付トルクは12kg・cmです。

ご注意 平らな壁に据付けてください。凸凹のある壁に取り付けますと、ケース割れや故障の原因になります。



壁に取付ける場合

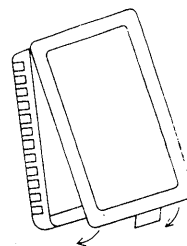


スイッチボックスに取付ける場合

(4)上ケースをはめ込みます。

- 上部爪（2ヶ所）を先に掛けて、左図の様にはめ込みます。

ご注意 “バチッ”と音がするまで確実にはめ込んでください。

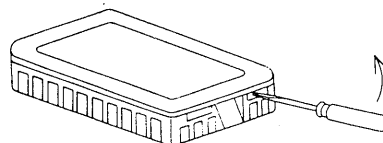


- ケースを外したい場合、下図の様にマイナスドライバーを爪部分にはめ込み、矢印で示す方向に動かしてください。

ご注意

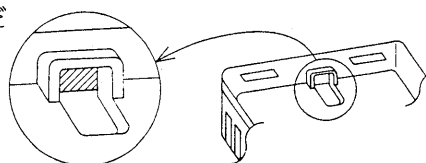
ドライバーを爪にはめ込んだ状態で回転させないでください。

爪がこわれてしまうことがあります。



(5)壁などに直接据付ける場合の配線穴

下ケースの薄肉部（斜線部）をナイフ・ニッパなど切取ってください。端子台に接続した2心ケーブルをここから出します。

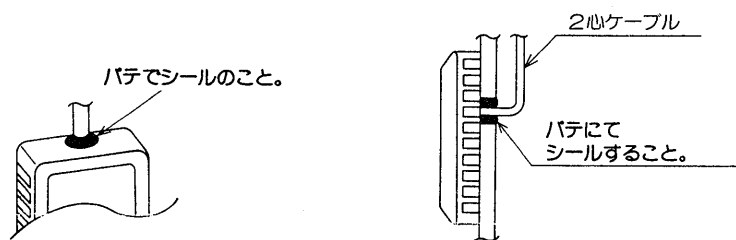


(6)露、水滴、ゴキブリ、虫などの侵入防止のためケーブル引込口をパテで確実にシールしてください。

- 壁に直接取付けた場合は下ケースの切取った部分をパテでシールします。

また、壁に穴をあけケーブルを通す場合（ケーブルを温度センサ背面から出す場合）その穴も同様にシールしてください。

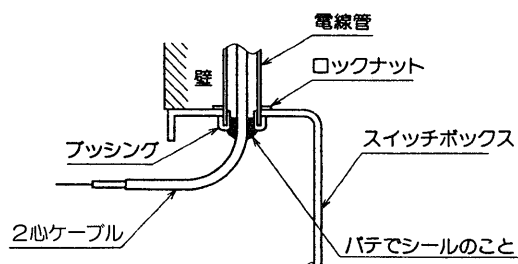
- スイッチボックスに取付けた場合はスイッチボックスと電線管の結合部をパテでシールします。



ケーブルを温度センサ上部から出す場合

ケーブルを温度センサ背面から出す場合

壁に直接取付ける場合



スイッチボックスを使用する場合